

苦手さに対応する算数の学習

- 1 数の読み方、書き方を理解するために
- 2 数の並びを理解するために
- 3 数を数えることを理解するために
- 4 数の表し方を理解するために
- 5 数の構成を理解するために
- 6 数の相対的な大きさを理解するために
- 7 数直線を理解するために
- 8 たし算、ひき算の暗算ができるために
- 9 たし算、ひき算の計算の仕方を理解するために
- 10 どんな計算になるかを理解するために



子どもの苦手なところを見つけて
学習課題をつかもう。

3 3桁の数

位に着目して、数を読む

百の位の読み方
「〇ひゃく」を覚えよう。
百の位の読み方は
「〇百〇十〇」と
大きい位から読み、
「0」の数は読まない。



百	十	一	百	十	一
7	2	6	5	4	6
七百二十六			五百四十六		

百	十	一	百	十	一
8	3	5	3	1	8
八百三十五			三百十八		

漢数字を読んで、数を書く

三百二十七	七百八十六
百 十 一	百 十 一

四百六十五	百七十五
百 十 一	百 十 一

位を意識して、数を書く

位に数がないところは「0」を書き、
数のはじめには
「0」は書かない。

百のくらいが3、十のくらいが6、
一のくらいが0のかず

百のくらい	十のくらい	一のくらい
3	6	0

百のくらいが0、十のくらいが5、
一のくらいが7のかず

百のくらい	十のくらい	一のくらい

数を読んで、位の数字を書く

位を意識して、数字
を読んで書こう。

734 は、百のくらいの すうじが

十のくらいの すうじが 一のくらいの すうじが

4 4桁の数

位に着目して、数を読む

千の位の読み方

「〇せん」を覚えよう。

千の位の読み方は

「〇千〇百〇十〇」

と大きい位から読み、「0」の数は読まない。



千	百	十	一
6	8	8	1
六千八百八十一			

千	百	十	一
9	3	8	4
九千三百八十四			

千	百	十	一
5	6	9	2
五千六百九十二			

千	百	十	一
3	2	8	6
三千二百八十六			

漢数字を読んで、数を書く

三千四百八十

千	百	十	一

四千二百三十八

千	百	十	一

位を意識して、数を書く

千の位が2、百の位が3、
十の位が8、一の位が0のかず

千の位	百の位	十の位	一の位

千の位が0、百の位が4、
十の位が6、一の位が5のかず

千の位	百の位	十の位	一の位

一の位や十の位、
百の位がないときはその位は「0」
を書き、数のはじめには「0」はつけない。

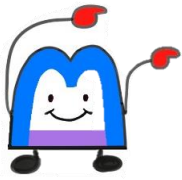
数を読んで、位の数字を書く

5639 は、千の位の すうじが

百の位の すうじが

一の位の すうじが

十の位の すうじが



2 数の並びを理解するために

位の数字の並び方を理解し、数のきまりを知る。

学習の内容

- 2桁の数
- 3桁の数
- 4桁の数

学習の流れ

- 1 順番に数唱をする。
- 2 位に着目して順番に数字を書く。

1 2桁の数

1ずつ進む

「じゅういくつ」「なんじゅういくつ」と言いながら順番に数字を書こう。

すうじを じゅんにかきましょう。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21			24			27			30
31				35				39	
41									50

すうじを じゅんにかきましょう。

51					55				60
61									
71									
81									
91									



位に着目して、何十の前後の数を書こう。
10の前は9、20の前は19、30の前は29等、十の位が1減っている。

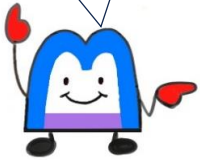
一の位が0の前後の数

1 おおきいかずや 1 ちいさいかずを かきましょう。

1 ちいさいかず		10		1 おおきいかず
1 ちいさいかず		60		1 おおきいかず
1 ちいさいかず		30		1 おおきいかず
1 ちいさいかず		90		1 おおきいかず

数表のきまりを見
つけよう。

- ・ 右に1ずつ増える。
- ・ 縦は10ずつ増える。
- ・ 横は十の位が同じ
- ・ 縦は一の位が同じ



数表のきまり

に かずを かきましよう。

20	21	22	23		26	27	28	29
30								
40	41	42	43	44				
50								59
60								

のれつの 十のくらのい すうじは

のれつの 十のくらのい すうじは

60	61		63	64	65	67	68	69
70	71		74			77	78	79
80	81		84			87	88	89
90	91		94			97	98	99
100								

のれつの 一のくらのい すうじは

のれつの 一のくらのい すうじは

あいているところに かずを かきましよう。

0	1	2				6	7	8	9
10	11	12	13				17	18	19
20				24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36			
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52				56	57	58	59
			63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73				77	78	79
80				84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96			
100									

2 3桁の数

1ずつ進む

「なんびゃくなん
じゅういくつ」と
言いながら順番に
数字を書こう。

100	101	102		104	105	106		108	109	110
111		113	114		116	117		119	120	
121	122	123		125	126	127	128		130	

	932	933			936	937	938			
	942	943			946	947	948			
	952	953			956	957	958			

一の位が1ずつ増
えるよ。
9の次は十の位
にあがるよ。



一の位が9の次の数

543	544	545	546	547	548	549	
685	686	687					692

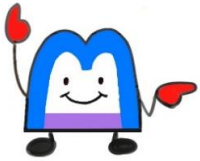
一の位と十の位が9の次の数

397	398	399				
498	499					

99の次は百の位
にあがるよ。

一の位と十の位が0の前後の数

300の前は299、
500の前は499等
百の位が1減って
いる。



1 ち い さ い か ず		300	1 お お き い か ず		1 ち い さ い か ず		500	1 お お き い か ず	
		100					900		

3 4桁の数

1ずつ進む

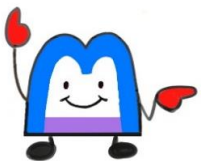
「なんぜんなん
びゃくなんじゅう
いくつ」と言いな
がら順番に数字を
書こう。

1000	1001				
2100					

一の位が9の次の数

9の次は、十の位
にあがる。

5007	5008				
6066	6067				



一の位と十の位が9の次の数

99の次は、百の
位にあがる。
999の次は、千の
位にあがる。

6398	6399		6401		
7798		7800	7801		7803

一の位と十の位と百の位が9の次の数

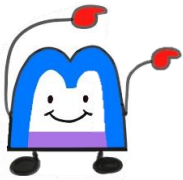
999			2999		
3999			5999		

3400の前は、
3399、
6620の前は、
6619等、前の
位が1減るよ。



一の位、十の位、百の位が0の前後の数

<input type="text"/>	3400	<input type="text"/>	<input type="text"/>	6520	<input type="text"/>
<input type="text"/>	2500	<input type="text"/>	<input type="text"/>	4260	<input type="text"/>



3 数を数えることを理解するために

数についての表し方が分かり、十進位取り記数法のしくみを基に数を数える。

学習の内容

- 10までの数
- 2桁の数
- 3桁の数
- 4桁の数

学習の流れ

- 1 数詞と数字を知り、確実に唱えて数える。
- 2 10より大きな数は、10、100、1000のまとまりをつかって数える。
- 3 十進位取り記数法のしくみを見つける。
















1 10までの数

具体物や数字を1対1対応で数えよう。












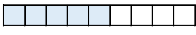










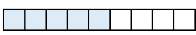
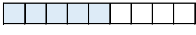

4、5の数は、3の塊を目で捉えて、「3、4」「3、4、5」と唱えよう。

6以上の数は、5の塊を目で捉えて、「5、6」「5、6、7」「5、6、7、8」と唱えよう。

1～5の数は、3を目で数え、残りの数を数えたす

1 	2 	3 	4 	し 		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
1 	2 	3 	4 	5 	ご 		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

5～10の数は、5を目で数え、残りの数を合わせる

1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	じゅう 		<input type="checkbox"/>
1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	く 		<input type="checkbox"/>	
												<input type="checkbox"/>
												<input type="checkbox"/>

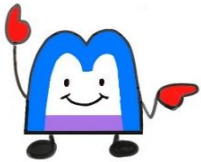


2 2桁の数

10のまとまりをつかって数える

10のまとまりをつかって、「10、20（にじゅう）…」と数えよう。何十といくつで「何十いくつ」と数えよう。

何十といくつで数える



{ }

10が [] こ	1が [] こ
<input type="text"/>	<input type="text"/>

3 3桁の数

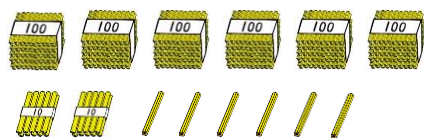
100のまとまりがいくつで何百と数える

100のまとまりをつかって、「100、200（にひゃく）…」と数えよう。100がいくつで、何百と表そう。

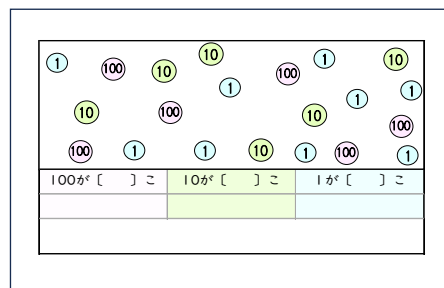
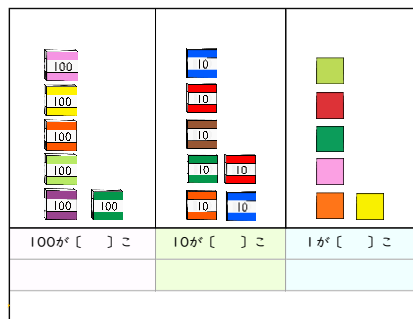
100 が こで

何百何十いくつと数える

100がいくつと、
10がいくつと、
1がいくつで「何
百何十いくつ」と
数えよう。



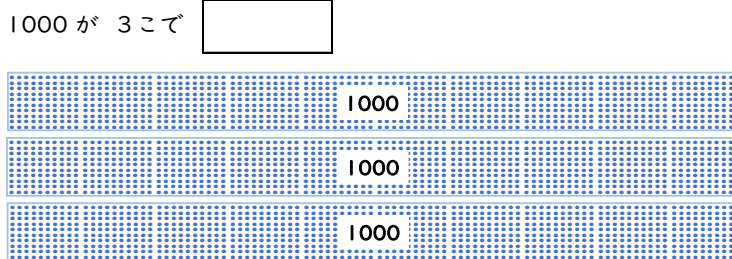
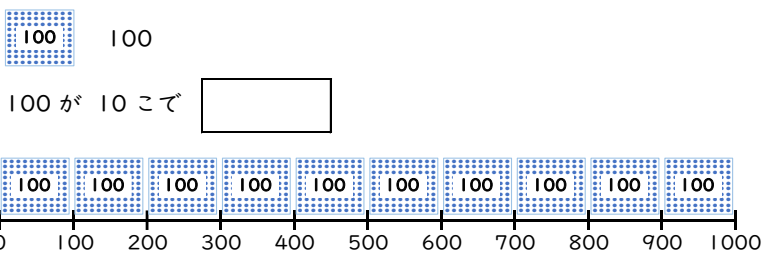
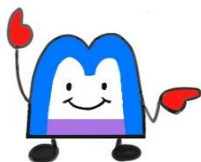
100が こ、10が こ、1が こで



4 4桁の数

100が10こで千と数える

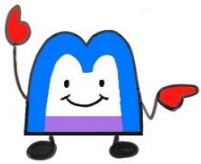
100のまとまりが
10こで1000にな
る。



1000のまとまり
を、1000、2000
(にせん) …と数
えよう。

何千何百何十いくつと数える

1000がいくつと
100がいくつと、
10がいくつと、
1がいくつで「何
千何百何十いく
つ」と数えよう。



10が10こで100、
100が10こで
1000と、位が上
がっていくことを
しっかり覚えよう。

	千	百	十	一
1000 が	2	こ		
100 が		3	こ	
10 が			4	こ
1 が				5
ぜんぶのかず				

1000が [4] こ	100が [2] こ	10が [7] こ	1が [6] こ
4000	200	70	6
4276			

1000が [] こ	100が [] こ	10が [] こ	1が [] こ

4 数を表すことを理解するために

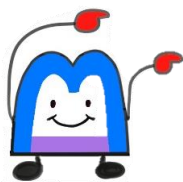
1～10000までの数を位の単位を理解して表すこと

学習の内容

- 10までの数
- 2桁の数
- 3桁の数
- 4桁の数

学習の流れ

- 1対1対応して数だけ絵図で表す。
- 数のまとまりをつかって、絵図、数図、タイル図で表す。



1 10までの数

絵図を使って数を表そう。
一つずつ数えたり、目で数えたりして表そう。

1～5の数は、3のまとまりをつかって表す

4 ○○○○ □□□□	5 ○○○○ □□□□	3 □□□□	5 □□□□
5 ○○○○ □□□□	3 ○○○ □□□□	5 □□□□	4 □□□□



6～10の数は、5のまとまりをつかって表す

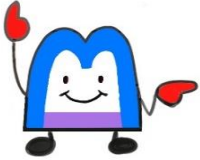
5のまとまりをつかって数えたりして表そう。

9 ○○○○○○○○ □□□□□□□	かずだけ はなを おきましょう。 (1～13～16 ページの かあど)
10 ○○○○○○○○ □□□□□□□	6 □□□□□□□
	7 □□□□□□□
	8 □□□□□□□
	9 □□□□□□□
	10 □□□□□□□

2 2桁の数

10のまとまりをつかって表す

数字の数を、10のまとまりをつかって、絵図で表そう。



10がいくつと1がいくつで考えて、位ごとに表そう。

58

「何十といくつ」で表す

をはる

65	
+	-

をはる

38	
+	-

をはる

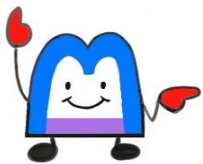
34	
+	-
30	4

をはる

28	
+	-

3 3桁の数

「何百と何十といくつ」で表す



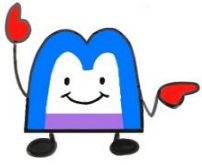
100がいくつと、10がいくつと、1がいくつで考えて、位ごとに表そう。

356

百のくらい	十のくらい	一のくらい
100のまとまり	10のまとまり	1のばら
100 10 1 で あらわす		
100のまとまり	10のまとまり	1のばら
100 10 1 で あらわす		
100が 3 こと	10が 5 こと	1が 6 こと

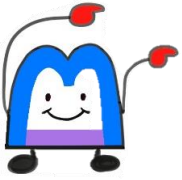
4 4桁の数

「何千と何百と何十といくつ」で表す



1000がいくつと、
100がいくつと、
10がいくつと、
1がいくつとで考
えて、位ごとに
表そう。

4 5 6 7				
	千	百	十	一
	$1000 \text{ が } (4) \text{ こ}$	$100 \text{ が } (5) \text{ こ}$	$10 \text{ が } (6) \text{ こ}$	$1 \text{ が } (7) \text{ こ}$



5 数の構成を理解するために

2つの数のいろいろな組み合わせで1つの数をつくったり（合成）、1つの数をいろいろな2つの組み合わせに分けたりする（分解）ことで、数を多面的に捉える。

学習の内容

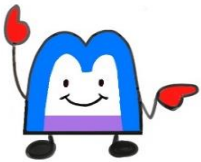
- 10までの数
- 2桁の数
- 3桁の数
- 4桁の数

学習の流れ

- 1 10までの数、2桁の数、3桁の数の合成、分解を表す。
- 2 数の構成を絵図や数図、タイル図、言葉で表す。

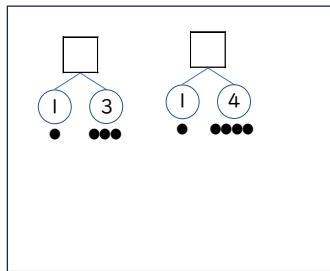
1 10までの数

図を見て、目で合わせたり、分けたりしよう。

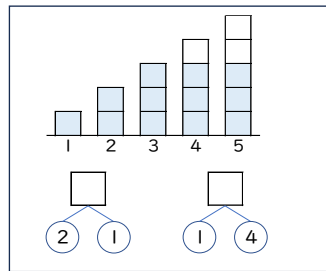


1、2、3、4、5を目で見取れるようにしましょう。

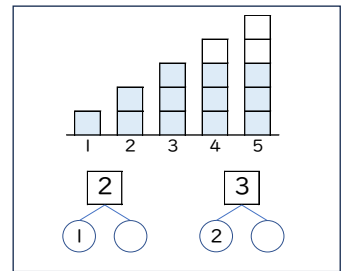
ドットで合成



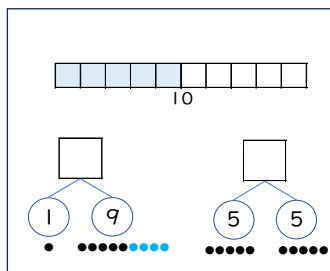
タイル図で合成



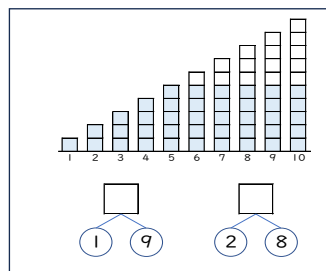
タイル図で分解



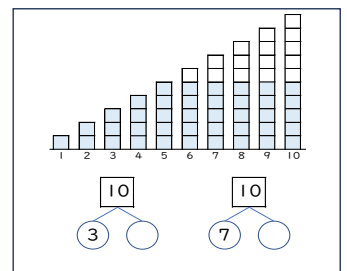
ドットで合成



タイル図で合成



タイル図で分解



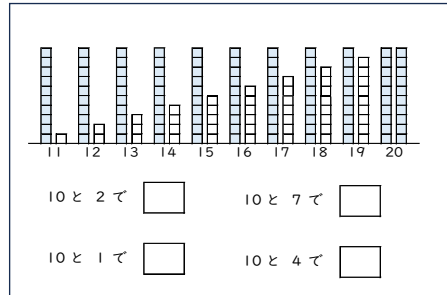
10を構成する2つの数の組み合わせを確実に覚える

2 2桁の数

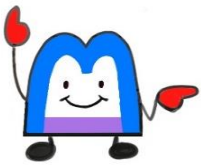
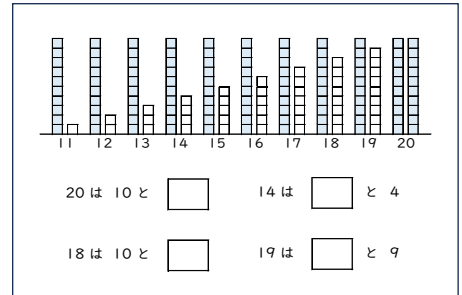
① 20までの数

「10といくつ
で十いくつ」と
合わせたり、
「十いくつは
10といくつ」
と分けたりしよ
う。

タイル図で合成

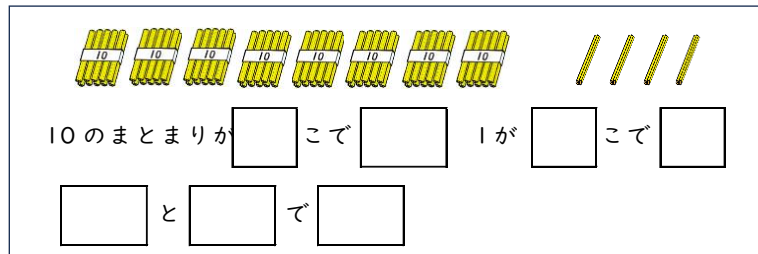


タイル図で分解

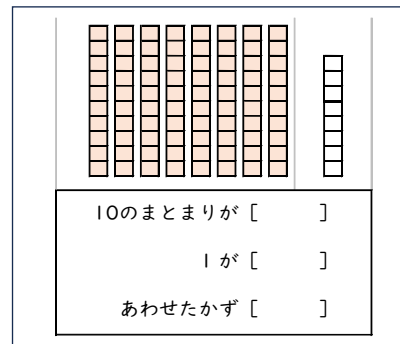
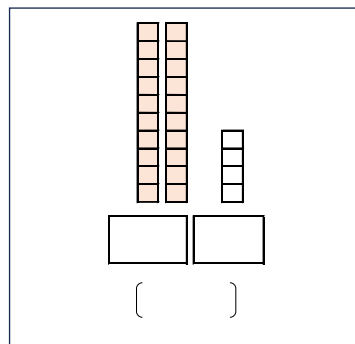


② 100までの数

絵図で合成

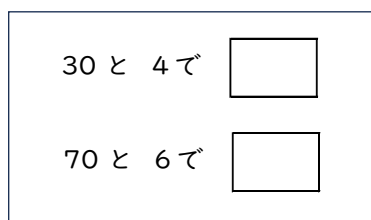


タイル図で合成

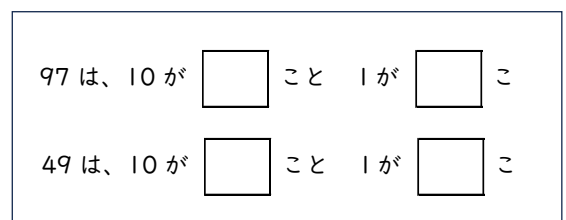


「何十といくつ
で何十いくつ」
と合わせたり、
「何十いくつは
何十といくつ」
と分けたりしよ
う。

言葉で合成



言葉で分解



3 3桁の数

絵図で合成

100が こ、10が こ、1が こで

数図で合成

あわせたかず

「何百と何十と
いくつで何百何
十いくつ」と合
わせたり、「何
百何十いくつは
何百と何十とい
くつ」と分けたり
しよう。

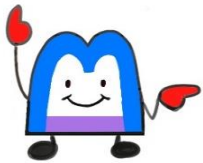
タイル図で合成

100が こで
10が こで
1が こで
あわせて

言葉で合成

600と80と1を あわせたかず

700と2を あわせたかず



言葉で分解

852は、 と と を あわせたかず

290は、 と を あわせたかず

何百何十いくつ
は、「何百と何
十といくつを合
わせた数」と分
けて表そう。

合成を等式で表す

700と20を あわせたかず

百のくらい	7	0	0
十のくらい		2	0
一のくらい			0
あわせたかず	7	2	0

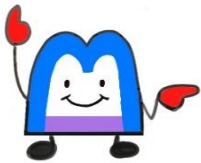
しき

700 + 20 = 720

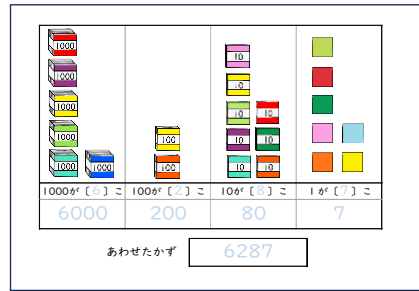
「何百+何十+
いくつ=何百何
十いくつ」等と、
合成や分解をし
て数を式に表そ
う。

4 4桁の数

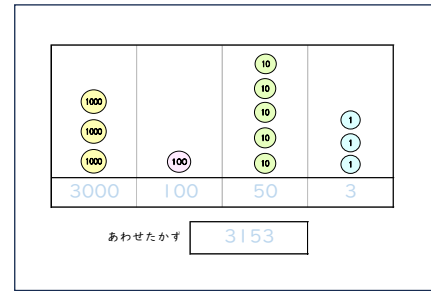
「何千と何百と何十といくつで何千何百何十いくつ」と合わせたり、「何千何百何十いくつは何千と何百と何十といくつ」と分けたりしよう。



絵図で合成



数図で合成



言葉で合成

5000と700と20と8を あわせたかず

5728

7000と400と90を あわせたかず

合成を等式で表す

3000と300と20と5を あわせたかず

千の位	3	0	0	0
百の位		3	0	0
十の位			2	0
一の位				5
あわせたかず	3	3	2	5

しき

$$3000 + 300 + 20 + 5 = 3325$$

言葉で分解

6948は、6000 と 900 と 40 と

8 を あわせたかず

7046は、 と と を

あわせたかず

「何千何百何十いくつ＝何千＋何百＋何十＋いくつ」等と、合成や分解をして数を式に表そう。

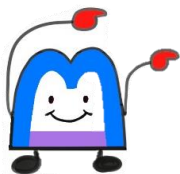
分解を等式で表す

2149は、2000と100と40と9を あわせたかず

千の位	2	0	0	0
百の位		1	0	0
十の位			4	0
一の位				9
あわせたかず	2	1	4	9

しき

$$2149 = 2000 + 100 + 40 + 9$$



6 数の相対的な大きさを理解するために

3000は千が3、百が30というように、ある数を十、百、千などの単位としてみる。

学習の内容

- 10を集めた数
- 100を集めた数

学習の流れ

- 1 10が10で100を基に考える。
- 2 数を分けて考える。

1 10を集めた数

「10が10こで100」になることを基に考えよう。



78を70と8に分けよう。
10が70で700、
10は8で80、
合わせて780になる。

10を37こ集めた数は

10を 37こ あつめたかずは いくつですか。

10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
10	10	10	10	10	10	10				

10	こ	で	100
10	こ	で	100
10	こ	で	100
7	こ	で	70

370

10を78こ集めた数は

10を 78こ あつめたかずは いくつですか。

780

10	が	70	こ	で	700	
10	が	8	こ	で	80	
						780

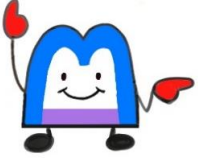
290は10を何こ集めた数ですか

290は 10を なんこ あつめたかずですか。

こ
こ
こ
こ

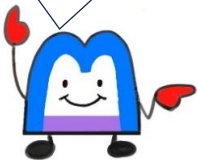
620は10を何こ集めた数ですか

620を600と20に分けよう。
600は10が60こ、
20は10が2こ、
合わせると10が62こになる。



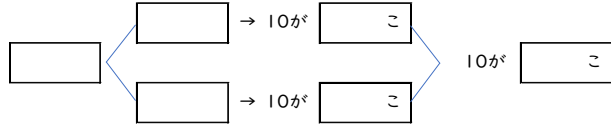
「10が10こで1000」になることを基に考えよう。

56を50と6に分けよう。
100が50で5000、
100が6で600、
合わせると5600になる。



「1000は100が10こ」を基に考えよう。

620は 10を なんこ あつめたかずですか。



2 100を集めた数

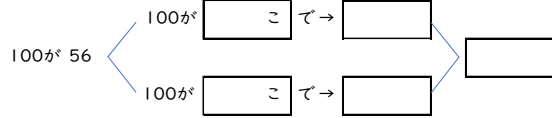
100を86こ集めた数は

100を 86こ あつめたかずは いくつですか。

<input type="text"/>	こ	で	<input type="text"/>
<input type="text"/>	こ	で	<input type="text"/>
<input type="text"/>	こ	で	<input type="text"/>
<input type="text"/>	こ	で	<input type="text"/>
<input type="text"/>	こ	で	<input type="text"/>
<input type="text"/>	こ	で	<input type="text"/>
<input type="text"/>	こ	で	<input type="text"/>
<input type="text"/>	こ	で	<input type="text"/>
<input type="text"/>	こ	で	<input type="text"/>
<input type="text"/>	こ	で	<input type="text"/>

100を56こ集めた数は

100を 56こ あつめたかずは いくつですか。

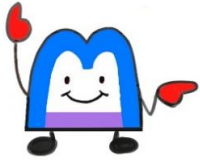


4200は100を何個集めた数ですか

4200は 100を なんこ あつめたかずですか。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	こ
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	こ
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	こ
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	こ
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	こ

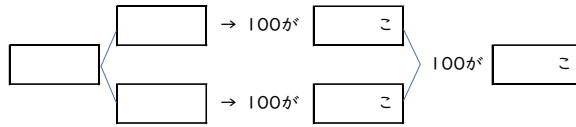
5800を5000と
800に分けよう。
5000は100が50
こ、800は100が
8こ、合わせると
100が58こにな
る。

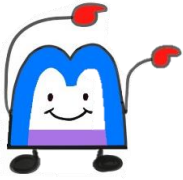


5800は100を何個集めた数ですか

5800は 100を なんこ あつめたかずですか。

こ





7 数直線を理解するために

数直線上で表された数を読んだり、数の系列や順序、大小、数の相対的な大きさを捉えたりする。

学習の内容

- 20までの数
- 100までの数
- 1000までの数
- 10000までの数

学習の流れ

- 1 数直線上の数を表す。
- 2 数直線上で数の大小や基にする数より大きい数や小さい数を表す。
- 3 数直線上で数を合わせる。
- 4 数直線上で、10や100を単位とした数の大きさを捉える。

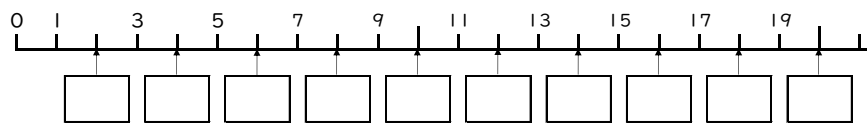
1 20までの数

数直線上に数を書く

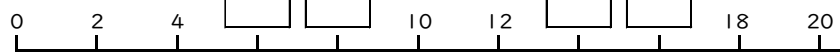
1目盛りがいくつかを考えよう。



1目盛り1

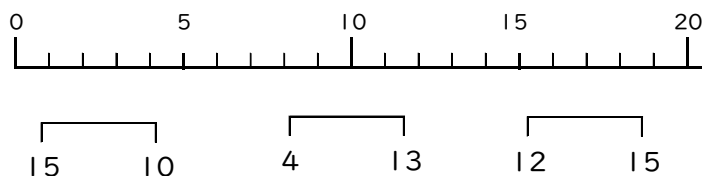


1目盛り2



数直線上で数の大小をつかむ

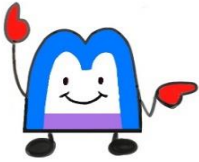
右に進むと数が大きくなるね。



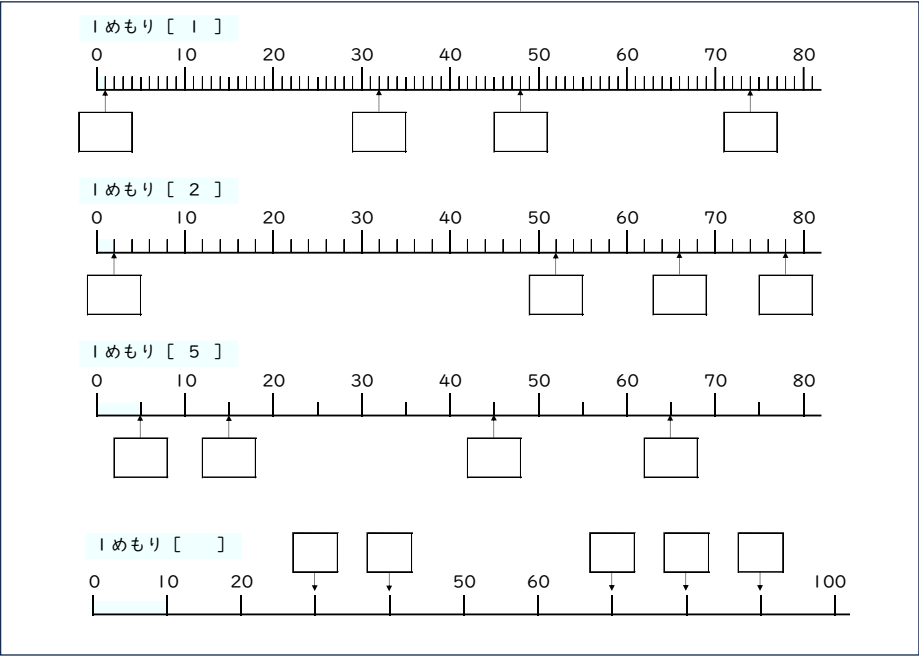
2 100までの数

1 目盛りと数直線上に表された数を読む

0と10の間に目盛りが10こだから1目盛りは1

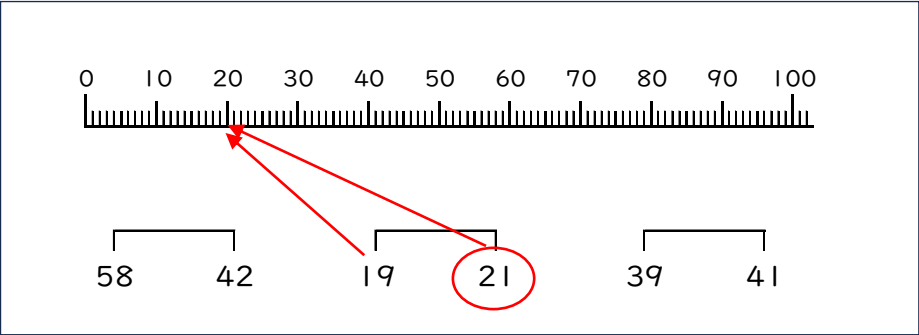


0と10の間に目盛りが5こだから1目盛りは2



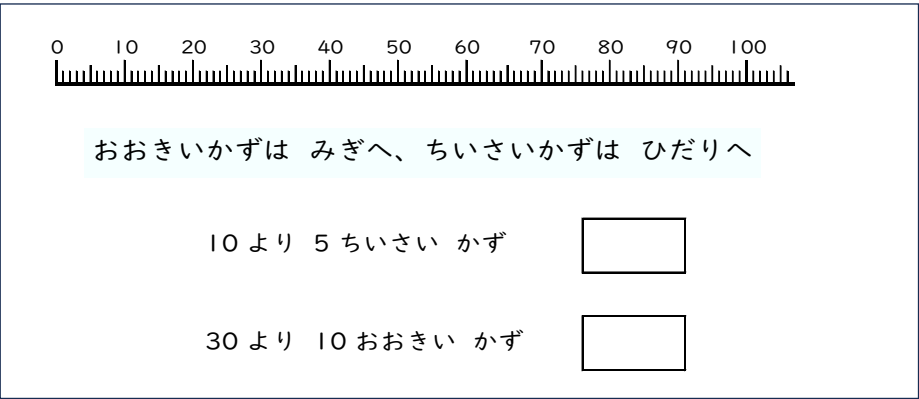
数直線上で数の大小をつかむ

十の位から比べよう。
同じだったら一の位を比べる。



基にする数より大きい数や小さい数を表す

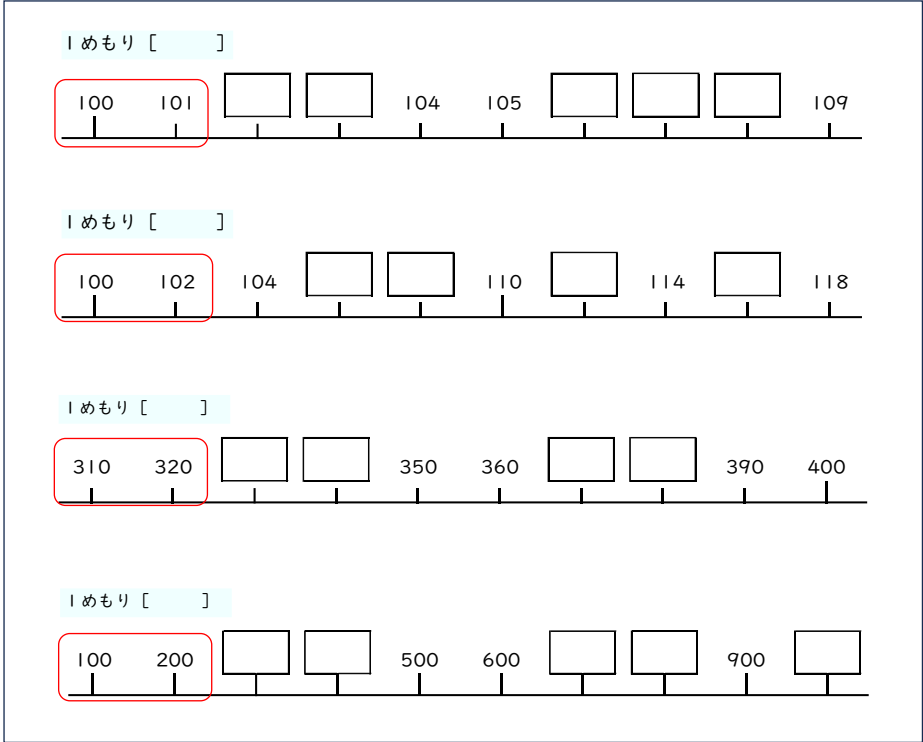
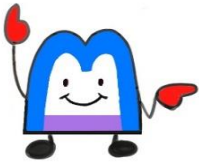
基にする数より大きい数は右へ、小さい数は左へ数えていこう。



3 1000までの数

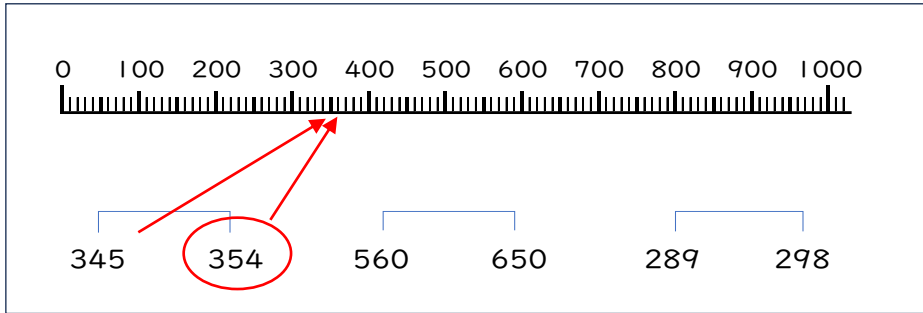
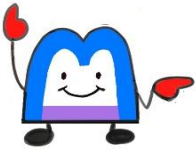
1 目盛りと数直線上に表された数を読む

1番小さい1目盛りの大きさを見つけよう。



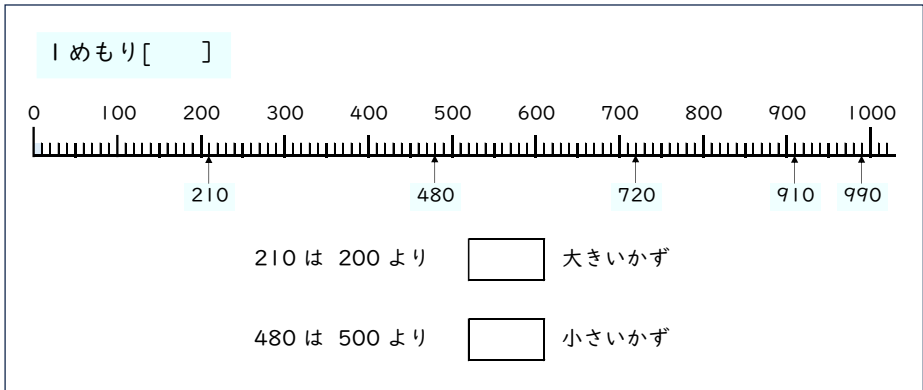
数直線上で数の大小をつかむ

右にある数の方が大きい。



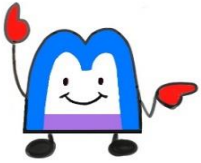
基にする数より大きい数や小さい数を表す

基にする数より大きい数は右へ、小さい数は左へ数えていこう。

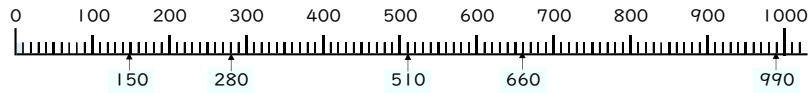


数直線上で数を合わせる

数直線上で百の位の数と十の位の数合わせた数を見つけよう。



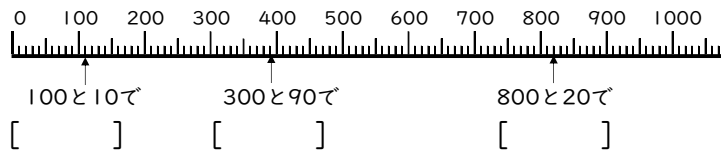
1めもり []



150は と をあわせたかず

280は と をあわせたかず

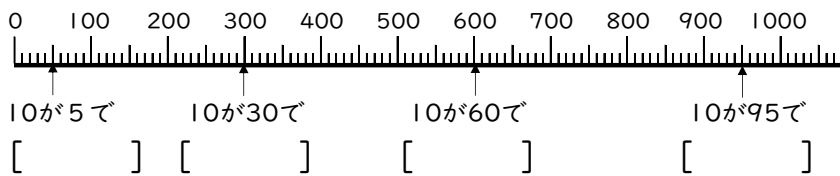
1めもり []



数直線上で10を単位として数を捉える

1目盛りの数がいくつあるかで数直線上の数を捉えよう。

1めもり []



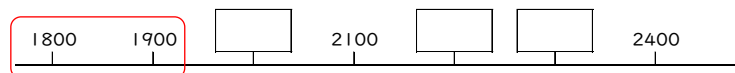
4 10000までの数

1目盛りと数直線上に表された数を読む

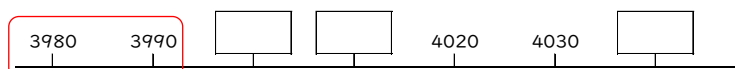
1番小さい1目盛りの大きさを見つけよう。

1めもりのかさを かきましょう。 かずのせんに かずを かきましょう。

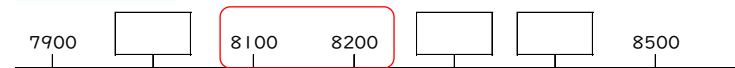
1めもり []



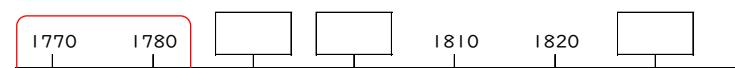
1めもり []



1めもり []

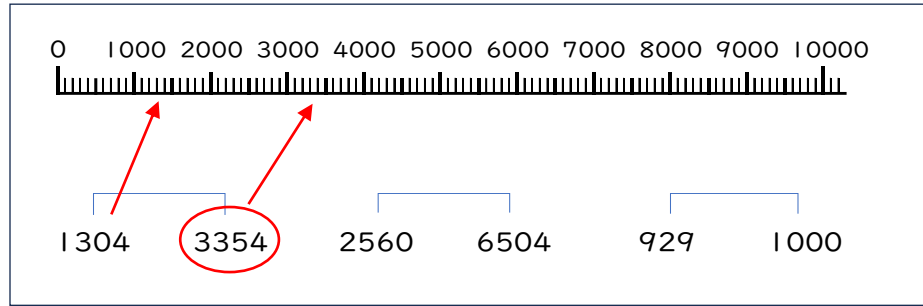


1めもり []



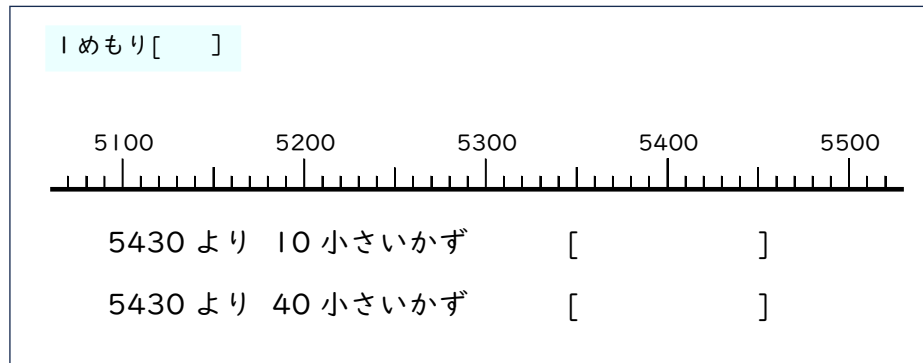
数直線上で数の大小をつかむ

右にある数の方が大きい。



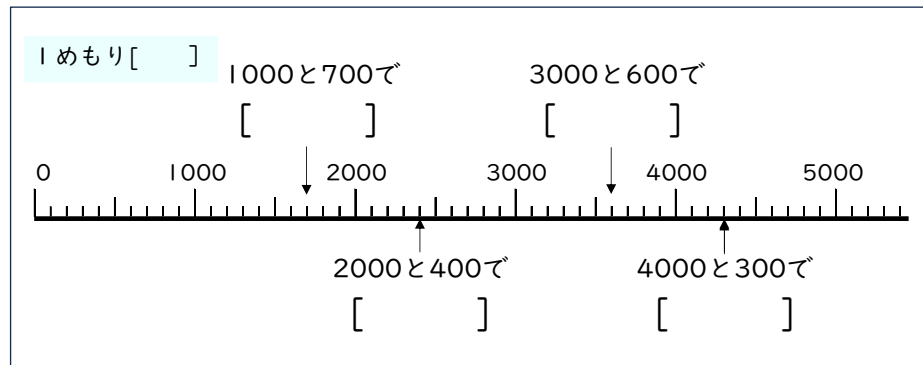
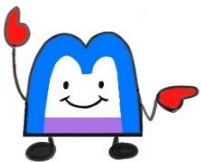
基にする数より大きい数や小さい数を表す

基にする数より大きい数は右へ、小さい数は左へ数えていこう。



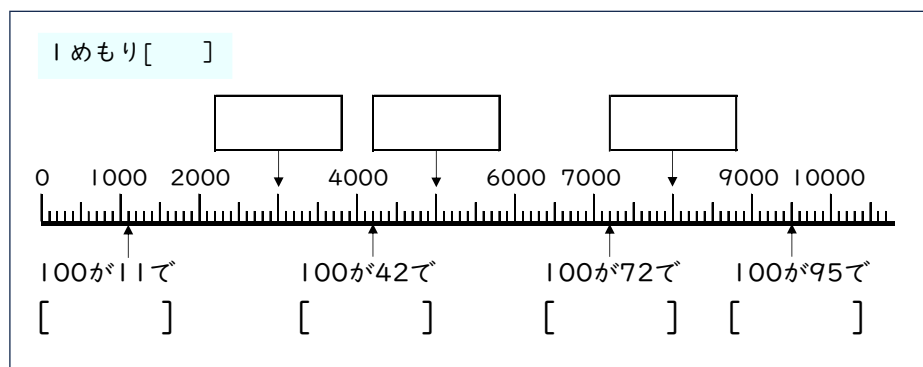
数直線上で数を合わせる

数直線上で千の位の数と百の位の数を合わせた数を見つけよう。



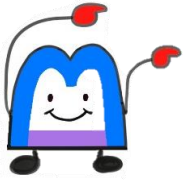
数直線上で100を単位として数を捉える

1目盛りの数がいくつあるかで数直線上の数を捉えよう。



8 暗算ができるようになるために（たし算）

和が10までの計算を瞬時にできることが基本
繰り上がりの計算の仕方を確実に捉え、念頭で行うようにすること



学習の内容

- 繰り上がりのない1位数の計算
- 十+いくつ、十いくつ+いくつの計算
- 繰り上がりのある1位数の計算
- 繰り上がりのない2位数の計算

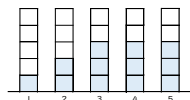
学習の流れ

- 1 タイル図で計算を理解する。
- 2 式で計算を理解する。
- 3 念頭で計算する。

1 繰り上がりのない1位数の計算

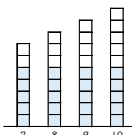
10までの数をイメージできることが大切です。タイル図等で、目で合わせよう。

和が5まで



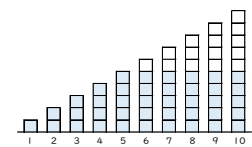
$$\begin{array}{ll} 1 + 4 = \square & 3 + 2 = \square \\ 2 + 3 = \square & 4 + 1 = \square \end{array}$$

数えたす計算



$$\begin{array}{ll} 7 + 1 = \square & 7 + 3 = \square \\ 7 + 2 = \square & 1 + 7 = \square \end{array}$$

和が10の計算



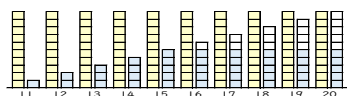
$$\begin{array}{ll} 1 + 9 = \square & 3 + 7 = \square \\ 2 + 8 = \square & 4 + 6 = \square \end{array}$$

2 十+いくつ、十いくつ+いくつの計算



一の位どおしを
目で計算しよう。

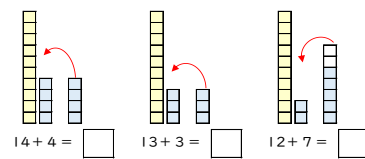
十+いくつ



$$\begin{array}{ll} 10 + 2 = \square & 10 + 6 = \square \\ 10 + 7 = \square & 10 + 9 = \square \end{array}$$

十いくつ+いくつ

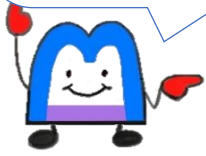
あんざんでみましょう。



$$\begin{array}{lll} 14 + 4 = \square & 13 + 3 = \square & 12 + 7 = \square \end{array}$$

3 繰り上がりのある1位数の計算

10に対する補数や10までの数の合成と分解を瞬時に分かることが大事です。



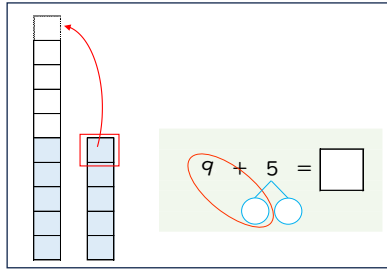
タイル図で、加数分解や被加数分解、被加数、加数分解のやり方を覚えよう。

2つの数を5といくつで捉え、5と5で10をつくって計算しよう。

同じ位どうしをたそう。

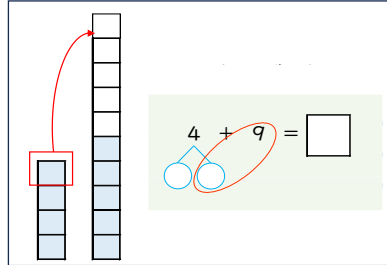


加数分解 (被加数が9)



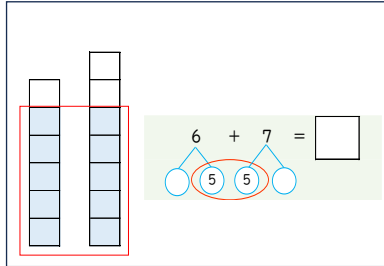
- ① 9はあと1で10
- ② 5を1と4にわけ
- ③ 9と1で10
- ④ 10と4で14

被加数分解 (加数が9)



- ① 9はあと1で10
- ② 4を1と3にわけ
- ③ 9と1で10
- ④ 10と3で13

被加数、加数分解



- ① 7は5と2
6は5と1
- ② 5と5で10
- ③ 2と1で3
- ④ 10と3で13

4 繰り上がりのない2位数の計算

何十といくつ

$40 + 3 = \square$	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">十のくらい</th> <th style="width: 50%;">一のくらい</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">⑩ ⑩ ⑩ ⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center;">① ① ①</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </table>	十のくらい	一のくらい	⑩ ⑩ ⑩ ⑩		+	① ① ①	—		4	3	$30 + 6 = \square$	$10 + 5 = \square$
十のくらい	一のくらい												
⑩ ⑩ ⑩ ⑩													
+	① ① ①												
—													
4	3												
$50 + 3 = \square$		$80 + 7 = \square$											

何十いくつ+いくつ

$32 + 3 = \square$	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">十のくらい</th> <th style="width: 50%;">一のくらい</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">⑩ ⑩ ⑩</td> <td style="text-align: center;">① ①</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center;">① ① ①</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> </table>	十のくらい	一のくらい	⑩ ⑩ ⑩	① ①	+	① ① ①	—		$33 + 1 = \square$	$74 + 4 = \square$
十のくらい	一のくらい										
⑩ ⑩ ⑩	① ①										
+	① ① ①										
—											
$86 + 2 = \square$		$56 + 1 = \square$									

何十+何十

何十の数は、十のいくつか分を考えて計算しよう。



同じ位どうしをたそう。

	10がいくつかかんがえる	しき	
30+40	$3+4=7$	$30+40=70$	
$30+10=$	<input type="text"/>	$40+30=$	<input type="text"/>
$70+20=$	<input type="text"/>	$40+10=$	<input type="text"/>

2位数+2位数

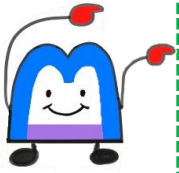
$\begin{array}{r} \square \\ + \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 7 \end{array}$
$\begin{array}{r} + \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \end{array}$	$\begin{array}{r} + \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 1 \end{array}$
$\begin{array}{r} + \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} + \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \end{array}$
$\begin{array}{r} + \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} + \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \end{array}$

空位がある計算

$\begin{array}{r} \square \\ + \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 2 \end{array}$
$\begin{array}{r} + \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} + \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \end{array}$
$\begin{array}{r} + \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} + \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \end{array}$
$\begin{array}{r} + \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} + \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \end{array}$

欠位がある計算

$\begin{array}{r} \square \\ + \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} \square \\ 3 \end{array}$
$\begin{array}{r} + \\ \square \end{array}$	$\begin{array}{r} 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} + \\ \square \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \end{array}$
$\begin{array}{r} + \\ \square \end{array}$	$\begin{array}{r} 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} + \\ \square \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \end{array}$
$\begin{array}{r} + \\ \square \end{array}$	$\begin{array}{r} 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} + \\ \square \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \end{array}$



8 暗算ができるようになるために（ひき算）

被減数が10までのひき算を瞬時にできることが基本
減数が20までのひき算を確実に捉え、念頭で行うように
すること

学習の内容

- 繰り下がりのない1位数の計算
- 繰り下がりのない十いくつー1位数の計算
- 繰り下がりのある十いくつー1位数の計算
- 繰り下がりのない2位数の計算

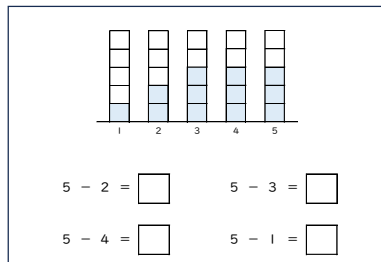
学習の流れ

- 1 タイル図で計算を理解する。
- 2 式で計算を理解する。
- 3 念頭で計算を行う。

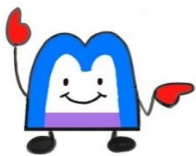
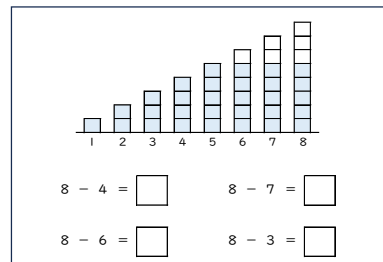
10までの数を
イメージできる
ことが大事だよ。
タイル図等で、
ひいた数を目で
分解的に見取る
よ。

1 繰り下がりのない1位数の計算

被減数が5

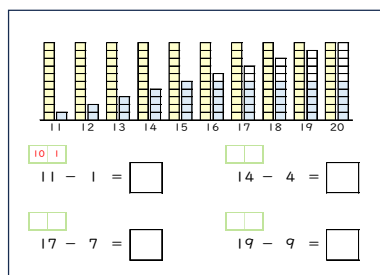


被減数が8

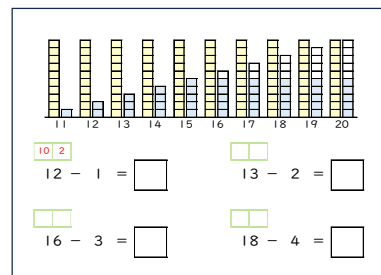


2 繰り下がりのない十いくつー1位数の計算

十いくつーいくつ=10



十いくつーいくつ=十いくつ



一の位どおしを
目で計算しよう。

3 繰り下がりのある十いくつー1位数の計算

10に対する補数や10までの数の合成と分解を瞬時に分かることが大事です。



タイル図で、減加法と減々法のやり方を覚えよう。

減加法 (減数が9)

15を10と5にわけると
10から9をひく
1と5をたす

減々法 (被減数が13)

13を10と3にわけると
6を3と3にわけると
13から3をひく
10から3をひく

4 繰り下がりのない2位数の計算

同じ位どうしをひこう。



何十いくつーいくつ=何十

$35 - 5 = \square$

十のくらい	一のくらい
⑩ ⑩ ⑩	① ① ① ① ①
	5

$61 - 1 = \square$ $93 - 3 = \square$

$59 - 9 = \square$ $84 - 4 = \square$

何十いくつーいくつ=何十いくつ

$46 - 3 = \square$

十のくらい	一のくらい
⑩ ⑩ ⑩ ⑩	① ① ① ① ①
	①
	3

$43 - 2 = \square$ $87 - 5 = \square$

$54 - 1 = \square$ $96 - 5 = \square$

何十－何十

何十の数は、十のいくつか分を考えて計算しよう。



筆算は、一の位から計算しよう。

	10がいくつで かんがえる	しき
40 - 10	4 - 1 = 3	40 - 10 = 30
80 - 60 = <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>		60 - 20 = <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>
50 - 40 = <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>		90 - 10 = <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>

2位数－2位数

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td>6</td><td>5</td></tr> <tr><td>-</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		6	5	-	2	3				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td>7</td><td>6</td></tr> <tr><td>-</td><td>4</td><td>1</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		7	6	-	4	1				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td>5</td><td>8</td></tr> <tr><td>-</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		5	8	-	4	4			
	6	5																											
-	2	3																											
	7	6																											
-	4	1																											
	5	8																											
-	4	4																											

欠位がある計算

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td>5</td><td>4</td></tr> <tr><td>-</td><td> </td><td>2</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		5	4	-		2				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>-</td><td> </td><td>5</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		6	7	-		5				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td>3</td><td>8</td></tr> <tr><td>-</td><td> </td><td>4</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		3	8	-		4			
	5	4																											
-		2																											
	6	7																											
-		5																											
	3	8																											
-		4																											

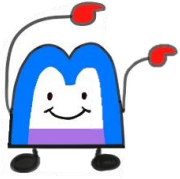
答えに空位がある計算

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>-</td><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		4	6	-	1	6				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td>5</td><td>3</td></tr> <tr><td>-</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		5	3	-	2	3				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td>6</td><td>1</td></tr> <tr><td>-</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		6	1	-	1	1			
	4	6																											
-	1	6																											
	5	3																											
-	2	3																											
	6	1																											
-	1	1																											

9 計算の仕方を理解するために（たし算）

繰り上がりの意味をつかむ。

手順通りに筆算を行うことを段階をおって習得できる。



学習の内容

- 繰り上がりのない2位数の計算
- 繰り上がりのある2位数の計算
- 繰り上がりのない3位数の計算
- 繰り上がりのある3位数の計算

学習の流れ

- 1 タイル図を見て繰り上がりの計算をする。
- 2 筆算の仕方を言葉で表す。

1 繰り上がりのない2位数の計算

筆算は位をそろえて書くこと、同じ位どうしをたすこと、一の位からたすことを覚えよう。

(1) 筆算の式の書き方

ひっさんのしきの かきかた

24+53 くらいをそろえて たてにかく。
あかいろを なぞって ひっさんのしきを かく。

2	4	+	2	4	+	2	4	+	2	4

24+53 の けいさんを ひっさんで しましょう。
くらいくらいに けいさんを する。

一のくらい + =

2	4
+	5
3	

十のくらい + =

2	4
+	5
3	

ひっさんで けいさんを しましょう。

26	+	32
+		

13	+	64
+		



(2) 2位数+2位数

43+36 の ひっさんのしかた

くりあがりがないけいさん

おなじくらいどうしを たす。
一のくらいから たす。

+	+
4	3
+	3
3	6
+	+
()	()
()	()

① 一のくらいのけいさん
() と () を たすと ()
一のくらいは ()

② 十のくらいのけいさん
() と () を たすと ()
十のくらいは ()

4	3
+	3
3	6

同じ位どうしをたそう。

ひっさんで しましょう。

おなじくらいどうしを たす。
一のくらいから たす。

2	①
2	3
+	4
4	2
+	6
6	5

①

3	1
+	5
5	3

 ②

4	5
+	2
4	2

 ③

5	2
+	2
4	4

④

3	6
+	6
2	2

 ⑤

6	3
+	2
4	4

 ⑥

3	1
+	6
8	8

⑦

5	6
+	1
1	1

 ⑧

7	4
+	2
4	4

 ⑨

1	2
+	3
7	7

(3) 空位がある計算

被加数、加数どちらかに0があるとき、0をたしてもその数の大きさは変わらない。



十の位の数をそのまま下ろそう。

39+50のひっさんのしかた

なんすいくつ+なんすのけいさん

たすかずがないときは、そのままおろす。

+			
	3	9	
+	5	0	
	()	()	

① 一のくらのけいさん
たすかずがないとき、
一のくらは()

② 十のくらのけいさん
()と()をたすと()
十のくらは()

③ ②のけいさん
はしない、
そのままおろす。

ひっさんで しましょう。

②	①
2	7
+	3
5	7

①

3	0
+	3
	4

 ②

7	0
+	2
	7

 ③

3	3
+	1
	0

④

2	5
+	5
	0

 ⑤

3	6
+	4
	0

 ⑥

2	0
+	5
	7

⑦

6	0
+	3
	9

 ⑧

8	0
+	1
	8

 ⑨

6	2
+	3
	0

(4) 欠位がある計算

52+6のひっさんのしかた

なんすいくつ+いくつのけいさん

たすかずがないときは、そのままおろす。

+			
	5	2	
+			6
	()	()	

① 一のくらのけいさん
()と()をたすと()
一のくらは()

② 十のくらのけいさん
たすかずがない、5を
十のくらは()

ひっさんで しましょう。

②	①
3	6
+	3
3	9

①

2	
+	5
6	

 ②

2	4
+	3

 ③

	1
+	8
	1

④

4	
+	4
4	

 ⑤

3	2
+	5

 ⑥

	5
+	7
	3

⑦

6	3
+	6

 ⑧

	8
+	7
	1

 ⑨

9	1
+	7
	7

2 繰り上がりのある2位数の計算

繰り上がりの仕方を覚えよう。



十の位に繰り上がった1を小さく書くよ。十の位に加えて計算しよう。

(1) 一の位で繰り上がりのある計算

34+49のひっさんのしかた

十のくらのへくりあがりがあるけいさん

一のくらの10を、十のくらにくりあげる。

+			
	3	4	
+	4	9	
	()	()	

① 一のくらのけいさん
()と()をたすと()
一のくらは()
10を十のくらにくりあげる。

② 十のくらのけいさん
1くりあがったので
()と()をたすと()
十のくらは()

ひっさんで しましょう。

①	②	③
4	8	
+	3	4
8	2	

①

3	9
+	1
	2

 ②

4	3
+	2
	8

 ③

7	5
+	1
	6

④

3	4
+	2
	7

 ⑤

5	5
+	3
	8

 ⑥

4	7
+	1
	6

⑦

3	8
+	2
	8

 ⑧

4	9
+	4
	5

 ⑨

2	6
+	6
	8

(2) 十の位で繰り上がりのある計算

十の位で繰り上がった1を、百の位の答えに書こう。



72+46 の ひっさんのしかた

百の位への繰り上がりがあるけいさん

百	十	一
	7	2
	4	6
+		
()	()	()

① 一の位のけいさん
()と()をたすと()
一の位は()

② 十の位のけいさん
()と()をたすと()
十の位は()
10を百の位にくりあげる。
百の位は()

ひっさんでしましょう。

4	7
+	7 2
1	1 9

①

6	1
+	6 7

 ②

3	3
+	9 3

 ③

8	7
+	5 2

④

7	2
+	4 4

 ⑤

6	3
+	9 2

 ⑥

8	1
+	8 8

⑦

9	3
+	2 4

 ⑧

8	6
+	4 2

 ⑨

7	4
+	4 3

(3) 一の位と十の位で連続して繰り上がりのある計算

十の位に繰り上がった1を十の位の数にたそう。十の位で繰り上がった1を、百の位の答えに書こう。

77+59 の ひっさんのしかた

十の位への繰り上がりと 百の位への繰り上がりがあるけいさん

百	十	一
	7	7
	5	9
+		
()	()	()

① 一の位のけいさん
()と()をたすと()
一の位は()
10を十の位にくりあげる。

② 十の位のけいさん
1くりあがったので
()と()をたすと()
十の位は()
10を百の位にくりあげる。
百の位は()

ひっさんでしましょう。

8	2
+	6 9
1	5 1

①

7	5
+	6 8

 ②

9	4
+	3 9

 ③

5	8
+	7 7

④

4	9
+	9 4

 ⑤

3	7
+	9 5

 ⑥

4	6
+	8 9

⑦

2	4
+	9 8

 ⑧

4	3
+	7 8

 ⑨

6	8
+	5 6

(4) 空位がある計算

0は加えられても大きさは変わらないよ。そのまま下ろそう。

70+65 の ひっさんのしかた

なんす+なんす+いっつのけいさん

0のけいさんはしない

百	十	一
	7	0
	6	5
+		
()	()	()

① 一の位のけいさん
たさねるかずがない。5を(おろす)
一の位は()

② 十の位のけいさん
()と()をたすと()
十の位は()
10を百の位にくりあげる。
百の位は()

ひっさんでしましょう。

6	3
+	8 0
1	4 3

①

3	6
+	8 0

 ②

7	0
+	6 3

 ③

8	4
+	5 0

④

9	0
+	2 5

 ⑤

6	7
+	5 0

 ⑥

4	0
+	7 8

⑦

6	0
+	5 9

 ⑧

4	1
+	9 0

 ⑨

3	0
+	8 2

(5) 一の位の繰り上がりが波及して、十の位も繰り上がる計算

十の位に繰り上がった1を被加数に足そう。繰り上がった1を百の位に1と書こう。

47+54のひっ算のしかた

十のくり上りのくり上がり、百のくり上りのくり上がり

十のくり上りの10を、一のくり上りの10を、百のくり上にくりあげる。十のくり上にくりあげる。

百	十	一
	4	7
	+	5
	()	()
()	()	()

① 一の位のけい算 ()と()をたすと()
一の位は()
10を十のくり上にくりあげる。

② 十の位のけい算 1くりあがったので()と()をたすと()
十の位は()
10を百のくり上にくりあげる。百の位は()

ひっ算でしましょう。

1	6	7
+	3	4
1	0	1

①

2	2
+	7

 ②

8	6
+	1

 ③

3	5
+	6

④

5	6
+	4

 ⑤

4	3
+	5

 ⑥

2	8
+	7

⑦

6	7
+	3

 ⑧

7	6
+	2

 ⑨

1	4
+	8



(6) 一の位の繰り上がりが波及して、十の位も繰り上がる欠位がある計算

ひっ算でしましょう。

1	9	7
+		8
1	0	5

①

9	2
+	8

 ②

	3
+	9

 ③

	8
+	9

④

9	6
+	5

 ⑤

9	7
+	7

 ⑥

	5
+	9

⑦

	9
+	9

 ⑧

9	6
+	4

 ⑨

	9
+	9

3 繰り上がりのない3位数の計算

同じ位どうしをたそう。

415+344のひっ算のしかた

くり上がりがないけい算

一の位からじゅんにけい算する。

百	十	一
		5
	1	+
	4	4
	+	3
	()	()
()	()	()

① 一の位のけい算 ()と()をたすと()
一の位は()

② 十の位のけい算 ()と()をたすと()
十の位は()

③ 百の位のけい算 ()と()をたすと()
百の位は()

ひっ算でしましょう。

2	3	6
+	4	2
6	4	8

①

3	1	4
+	1	2

 ②

3	8	2
+	4	1

③

2	3	8
+	7	1

 ④

4	3	7
+	3	2

⑤

6	5	4
+	2	3

 ⑥

6	3	4
+	1	4

4 繰り上がりのある3位数の計算

(1) 一の位で繰り上がりのある計算

一の位で繰り上がった1を、十の位に小さく1と書いて、十の位に加えて計算しよう。



745+137のひっ算のしかた

十の位へのくり上がりがあるけい算

一の位の10を
十の位にくり上げる。

百	+	十	一
7	4	5	
+	1	3	7
()	()	()	()

① 一の位のけい算
()と()をたすと()
一の位は()
10を十の位にくり上げる。

② 十の位のけい算
1くり上がったので
()と()をたすと()
十の位は()

③ 百の位のけい算
()と()をたすと()
百の位は()

ひっ算でしましょう。

		1	
4	2	6	
+	1	5	7
5	8	3	

①

2	4	6
+	2	8

②

8	3	7	
+	1	5	8

③

4	5	8	
+	2	3	3

④

7	2	4	
+	1	4	9

⑤

6	2	5	
+	2	6	6

⑥

5	1	3	
+	3	4	8

(2) 十の位で繰り上がりのある計算

十の位で繰り上がった1を百の位に小さく1と書いて、百の位に加えて計算しよう。

366+451のひっ算のしかた

百の位へのくり上がりがあるけい算

十の位の10を
百の位にくり上げる。

百	+	十	一
3	6	6	
+	4	5	1
()	()	()	()

① 一の位のけい算
()と()をたすと()
一の位は()

② 十の位のけい算
()と()をたすと()
十の位は()
10を百の位にくり上げる。

③ 百の位のけい算
1くり上がったので
()と()をたすと()
百の位は()

ひっ算でしましょう。

		1	
2	7	5	
+	4	5	2
7	2	7	

①

5	3	2	
+	3	8	5

②

3	7	3	
+		5	6

③

6	9	4	
+	1	7	5

④

4	6	4	
+	2	8	4

⑤

3	8	6	
+	4	3	1

⑥

2	7	2	
+	6	6	3

(3) 一の位で繰り上がり、百の位が欠位の計算

たされる数がないので、百の位の数はそのまま答えに下ろそう。

35+408のひっ算のしかた

たされる数がないけい算

たされる数がないので
そのままおろす。

百	+	十	一
3	5		
+	4	0	8
()	()	()	()

① 一の位のけい算
()と()をたすと()
一の位は()
10を十の位にくり上げる。

② 十の位のけい算
1くり上がったので
十の位は()

③ 百の位のけい算
たされる数がない。4を()
百の位は()

ひっ算でしましょう。

		1	
6	8		
+	4	0	6
4	7	4	

①

3	0	8
+	4	5

②

2	0	2	
+		5	9

③

7	0	7
+	5	4

④

4	0	6
+	3	7

⑤

6	0	9
+	6	3

⑥

8	0	5
+	8	8

(4) 一の位、十の位ともに繰り上がりのある計算

十の位や百の位に繰り上がった1を小さく書いて、十の位や百の位を計算しよう。

266+259のひっ算のしかた

十の位への繰り上がりも 百の位への繰り上がりもあるけい算

10のまとまりができるとつぎの位にくり上げる。

百	+	十	一
200		60	6
200		50	9
200		50	9
+			
2	6	6	
2	5	9	
()	()	()	()
()+()=()	()+()=()	()+()=()	()+()=()

① 一の位のけい算
()と()をたすと()
一の位は()
10を十の位にくり上げる。

② 十の位のけい算
1くり上がったので()と()をたすと()
十の位は()
10を百の位にくり上げる。

③ 百の位のけい算
1くり上がったので()と()をたすと()
百の位は()

ひっ算でしましょう。

十の位からの繰り上がり	1	1	1	一の位からの繰り上がり
	5	6	8	
+	2	6	4	
	8	3	2	

①

3	8	7	
+	4	6	5

②

2	6	9	
+	2	7	8

③

2	5	4	
+	2	8	9

④

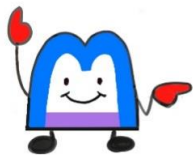
4	3	6	
+	3	8	8

⑤

5	7	3	
+	2	5	8

⑥

4	9	8	
+	1	8	5



(5) 十の位で波及的に繰り上がりのある計算

十の位や百の位に繰り上がった1を小さく書こう。
十の位に加えて計算しよう。

428+276のひっ算のしかた

十の位への繰り上がりも 百の位への繰り上がりになるけい算

10のまとまりができるとつぎの位にくり上げる。

百	+	十	一
400		20	8
200		70	6
200		70	6
+			
4	2	8	
2	7	6	
()	()	()	()
()+()=()	()+()=()	()+()=()	()+()=()

① 一の位のけい算
()と()をたすと()
一の位は()
10を十の位にくり上げる。

② 十の位のけい算
1くり上がったので()と()をたすと()
十の位は()
10を百の位にくり上げる。

③ 百の位のけい算
1くり上がったので()と()をたすと()
百の位は()

ひっ算でしましょう。

十の位からの繰り上がり	1	1	一の位からの繰り上がり
	3	8	7
+	1	1	6
	5	0	3

①

3	9	3	
+	1	0	8

②

2	3	9	
+	5	6	2

③

4	5	7	
+	1	4	7

④

3	7	5	
+	2	2	8

⑤

1	6	6	
+	7	3	9

⑥

7	0	4	
+	1	9	8

(6) 十の位で波及的に繰り上がりがあり、百の位が欠位の計算

十の位や百の位に繰り上がった1を小さく書こう。

448+57のひっ算のしかた

十の位への繰り上がりも 百の位への繰り上がりになるけい算

10のまとまりができるとつぎの位にくり上げる。

百	+	十	一
400		40	8
200		50	7
200		50	7
+			
4	4	8	
	5	7	
()	()	()	()
()+()=()	()+()=()	()+()=()	()+()=()

① 一の位のけい算
()と()をたすと()
一の位は()
10を十の位にくり上げる。

② 十の位のけい算
1くり上がったので()と()をたすと()
十の位は()
10を百の位にくり上げる。

③ 百の位のけい算
1くり上がったので()と()をたすと()
百の位は()

ひっ算でしましょう。

十の位からの繰り上がり	1	1	一の位からの繰り上がり
	3	6	8
+		3	7
	4	0	5

①

4	8	6
+	1	7

②

2	6	8
+	3	4

③

6	7	5
+	2	7

④

5	3	4
+	6	9

⑤

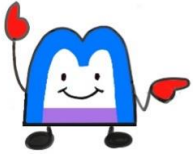
4	5	8
+	4	9

⑥

3	1	7
+	8	8

(7) 百の位で繰り上がりのある計算

千の位に繰り上がった1を千の位に書こう。



641+544 の ひっ算のしかた

千の位への繰り上がりがある計算

百の位の10を千の位にくり上げる。 千の位にくり上げる。

千	百	十	一
6	4	1	
+	5	4	4
()	()	()	()

① 一の位のけい算
()と()をたすと()
一の位は()

② 十の位のけい算
()と()をたすと()
十の位は()

③ 百の位のけい算
()と()をたすと()
百の位は()
10を千の位にくり上げる。
10を千の位にくり上げる。
1くり上がったので千の位は()

ひっ算でしましょう。

	7	2	8
+	4	4	1
	1	1	6

①

	7	4	3
+	4	4	2

②

	8	6	4
+	3	2	3

③

	5	1	6
+	6	4	2

④

	6	3	1
+	7	4	7

⑤

	8	5	2
+	6	3	4

⑥

	7	2	4
+	8	2	5

(8) 十の位、百の位ともに繰り上がりのある計算

百の位に繰り上がった1を百の位の計算に加えよう。
千の位に繰り上がった1を千の位の答えに書こう。

672+534 の ひっ算のしかた

百の位への繰り上がりと千の位への繰り上がりがある計算

百の位の10を千の位にくり上げる。 千の位にくり上げる。

千	百	十	一
6	7	2	
+	5	3	4
()	()	()	()

① 一の位のけい算
()と()をたすと()
一の位は()

② 十の位のけい算
()と()をたすと()
十の位は()
10を百の位にくり上げる。

③ 百の位のけい算
1くり上がったので()と()をたすと()
百の位は()
10を千の位にくり上げる。
10を千の位にくり上げる。
1くり上がったので千の位は()

ひっ算でしましょう。

千の位からの繰り上がり		6	9	2
	+	8	2	7
百の位からの繰り上がり		1	5	1

①

	5	8	5
+	6	3	3

②

	7	9	4
+	4	6	2

③

	7	4	1
+	6	9	4

④

	4	8	8
+	9	5	1

⑤

	4	6	3
+	8	7	2

⑥

	9	6	3
+	2	8	4

(9) 一の位、十の位、百の位で繰り上がりのある計算

十の位や百の位に繰り上がった1を小さく書こう。
十の位や百の位に繰り上がった1を百の位の計算に加えよう。
千の位に繰り上がった1を書こう。

954+368 の ひっ算のしかた

十の位と百の位と千の位への繰り上がりがある計算

百の位の10を千の位にくり上げる。 千の位にくり上げる。

千	百	十	一
9	5	4	
+	3	6	8
()	()	()	()

① 一の位のけい算
()と()をたすと()
一の位は()
10を十の位にくり上げる。

② 十の位のけい算
1くり上がったので()と()をたすと()
十の位は()
10を百の位にくり上げる。

③ 百の位のけい算
1くり上がったので()と()をたすと()
百の位は()
10を千の位にくり上げる。
10を千の位にくり上げる。
1くり上がったので千の位は()

ひっ算でしましょう。

千の位からの繰り上がり		2	6	8
	+	9	5	3
百の位からの繰り上がり		1	2	1

①

	5	4	6
+	6	7	5

②

	5	8	4
+	7	7	9

③

	9	3	9
+	2	8	6

④

	4	6	5
+	8	5	8

⑤

	9	4	5
+	8	9	

⑥

	5	5	8
+	7	4	4

(10) 一の位の繰り上がりが、十の位や百の位で波及的に繰り上がりのある計算

十の位や百の位に繰り上がった1を小さく書いてその計算に加えよう。千の位に繰り上がった1を書こう。



753+247のひっ算のしかた

千の位への繰り上がり、百の位への繰り上がりになるけい算

百の位の10を、百の位にくり上げる。
十の位の10を、十の位にくり上げる。
一の位の10を、十の位にくり上げる。

千	百	十	一
	7	5	3
	2	4	7
+			
()	()	()	()
()	()	()	()

① 一の位のけい算
 ()と()をたすと()
 一の位は()
 10を十の位にくり上げる。

② 十の位のけい算
 1くり上がったので
 ()と()をたすと()
 十の位は()
 10を百の位にくり上げる。

③ 百の位のけい算
 1くり上がったので
 ()と()をたすと()
 百の位は()
 10を千の位にくり上げる。
 1くり上がったので十の位は()

ひっ算でしましょう。

十の位からの繰り上がり

	1	1	1
	8	5	3
+	1	4	9
百の位からの繰り上がり	1	0	0

一の位からの繰り上がり

①

	7	5	5
+	2	4	6

②

	8	4	7
+	1	5	4

③

	6	6	3
+	3	5	9

④

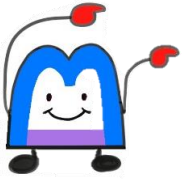
	5	8	6
+	4	1	8

⑤

	9	5	6
+	4	7	

⑥

	3	8	2
+	6	6	9



9 計算の仕方を理解するために（ひき算）

繰り下がりの意味をつかむ。

手順通りに筆算を行うことを段階をおって習得できる。

学習の内容

- 繰り下がりのない2位数の計算
- 繰り下がりのある2位数の計算
- 繰り下がりのない3位数の計算
- 繰り下がりのある3位数の計算

学習の流れ

- 1 タイル図を見て繰り下がりの計算をする。
- 2 筆算の仕方を言葉で表す。

1 繰り下がりのない2位数の計算

筆算は位をそろえて書くこと、同じ位どうしをひくこと、一の位からひくことを覚えよう。

(1) 2位数－2位数

68-34のひっさんのしかた

くり下がりのないけいさん
おなじくらいどうしをひく、
一のくらいからひく。

+	6	8
-	3	4
	()	()
	()-()	()-()

① 一のくらいのけいさん
()から()をひくと()
一のくらいは()

② 十のくらいのけいさん
()から()をひくと()
十のくらいは()

②	①	
6	8	
-	3	4

ひっさんでしましょう。

②	①	
3	8	
-	1	2
	2	6

①

6	8	
-	2	7

②

5	3	
-	3	1

③

7	5	
-	3	4

④

4	7	
-	2	4

⑤

3	9	
-	1	3

⑥

8	4	
-	2	2

⑦

9	6	
-	4	2

⑧

7	7	
-	3	3

⑨

6	8	
-	2	5



(2) 空位がある計算

ひく数がないときは、ひかれる数を下ろそう。

55-30のひっさんのしかた

ひく数が無いときは
ひかれる数を下ろす。

+	5	5
-	3	0
	()	()
	()-()	()-()

① 一のくらいのけいさん
ひく数がない。5を(おろす)
一のくらいは()

② 十のくらいのけいさん
()から()をひくと()
十のくらいは()

②	①	
5	5	
-	3	0

ひっさんでしましょう。

②	①	
6	8	
-	3	0
	3	8

ひく数が0のときは、ひかれる数を下ろす。

①

6	1	
-	3	0

②

3	7	
-	2	0

③

4	6	
-	3	0

④

7	4	
-	4	0

⑤

5	8	
-	3	0

⑥

2	9	
-	1	0

⑦

8	5	
-	5	0

⑧

6	7	
-	1	0

⑨

9	2	
-	7	0

(3) 減数に欠位がある計算

十の位に減数がないときは、被減数をそのまま下ろそう。



49-5 の ひっさんのしかた

なんすいくつ-いくつの けいさん
ひくかずがないときはそのままおろす。

+	4	9
-		5
	()	()

① 一のくらのけいさん
()から()をひくと()
一のくらは()

② 十のくらのけいさん
ひくかずがないので(おろす)
十のくらは()

ひっさんで しましょう。

②	①
2	6
-	2
	4

ひかれるかずをそのままおろす。

①

5	4
-	2

②

8	7
-	3

③

6	9
-	1

④

9	6
-	4

⑤

3	8
-	7

⑥

7	4
-	2

⑦

4	7
-	6

⑧

2	9
-	2

⑨

8	6
-	5

(4) 答えに空位がある計算

一の位の計算が0になるときは、0を書こう。

55-15 の ひっさんのしかた

くりさがりがないけいさん
一のくらのけいさんが0になるときは0をかく。

+	5	5
-	1	5
	()	()

① 一のくらのけいさん
()から()をひくと()
一のくらは()

② 十のくらのけいさん
()から()をひくと()
十のくらは()

ひっさんで しましょう。

②	①
4	6
-	1
	6
	3
	0

一のくらのけいさんが0になるときは、0をかく。

①

7	3
-	2

②

8	7
-	2

③

5	6
-	3

④

8	1
-	4

⑤

5	3
-	1

⑥

9	8
-	1

⑦

6	5
-	5

⑧

8	7
-	1

⑨

9	4
-	4

繰り下がりの仕方を覚えよう。

2 繰り下がりのある2位数の計算



十の位から一の位に1繰り下げると、一の位は10になる。繰り下がった10や減った数を小さく書こう。

(1) 一の位に繰り下がりのある計算

53-28 の ひっさんのしかた

十のくらの位からのくりさがりがあるけいさん
一のくらの位に1くり下げたのを、十のくらの位からくりさげると13

+	5	3
-	2	8
	()	()

① 一のくらのけいさん
3から8は(ひけない)
十のくらの位からくりさげると()
()から()をひくと()
一のくらは()

② 十のくらのけいさん
一のくらの位に1くり下げたので()
()から()をひくと()
十のくらは()

ひっさんで しましょう。

①	②	③
4	10	
5	6	
-	2	8
	2	8

① 1くりさげると

② 十のくらの位からくりさげた10

①

6	1
-	2

②

5	8
-	1

③

4	6
-	2

④

3	2
-	1

⑤

8	2
-	3

⑥

7	3
-	1

⑦

9	5
-	3

⑧

8	1
-	2

⑨

6	2
-	1

(2) 被減数に空位がある計算

ひかれる数が0
のときは、ひけ
ないので、上の
位から繰り下げ
よう。



60-23のひっさんのしかた

なんすくつーいくつ の けいさん

一のくらしいに
1くりさげると5

十のくらしいから
くりさげると10

+		
+	6	0
-	2	3
=	()	()
	()	()

① 一のくらしいの けいさん
0から3は ()
十のくらしいからくりさげると ()
()から ()をひくと ()
一のくらしいは ()

② 十のくらしいの けいさん
一のくらしいに1くりさげたので ()
()から ()をひくと ()
十のくらしいは ()

ひっさんで しましょう。

1くりさげると

	5	10
	6	0
-	1	8
=	4	2

十のくらしいから
くりさげた10

①

	3	0
-	1	7
=		

②

	5	0
-	3	2
=		

③

	6	0
-	2	4
=		

④

	8	0
-	5	1
=		

⑤

	9	0
-	6	8
=		

⑥

	8	0
-	4	3
=		

⑦

	4	0
-	1	6
=		

⑧

	5	0
-	3	5
=		

⑨

	7	0
-	5	7
=		

(3) 答えに欠位がある計算

十の位の計算が
0になるとき、
0は書かない。

24-18のひっさんのしかた

十のくらしいのけいさんが0になるけいさん

一のくらしいに
1くりさげると1

十のくらしいから
くりさげると10

+		
+	2	4
-	1	8
=	()	()
	()	()

十のくらしいの
けいさんが
0は書かない。

① 一のくらしいの けいさん
4から8は ()
十のくらしいからくりさげると ()
()から ()をひくと ()
一のくらしいは ()

② 十のくらしいの けいさん
一のくらしいに1くりさげたので ()
()から ()をひくと ()
十のくらしいは (0は書かない)

ひっさんで しましょう。

0は書かない。

	2	10
	2	4
-	1	8
=		7

①

	5	1
-	4	5
=		

②

	3	2
-	2	3
=		

③

	4	3
-	3	7
=		

④

	6	2
-	5	5
=		

⑤

	8	6
-	7	9
=		

⑥

	9	5
-	8	6
=		

⑦

	7	4
-	6	8
=		

⑧

	4	8
-	3	9
=		

⑨

	5	7
-	4	9
=		

(4) 減数に欠位がある計算

減数がないとき
は、被減数をそ
のまま下ろそう。

54-9のひっさんのしかた

なんすくつーいくつ の けいさん

一のくらしいに
1くりさげると4

十のくらしいから
くりさげると10

+		
+	5	4
-		9
=	()	()
	()	()

ひくかずがないので、
そのまま下ろす。

① 一のくらしいの けいさん
4から9は ()
十のくらしいからくりさげると ()
()から ()をひくと ()
一のくらしいは ()

② 十のくらしいの けいさん
一のくらしいに1くりさげたので ()
ひくかずがないので (ひくかず)
十のくらしいは ()

ひっさんで しましょう。

ひくかずがないので
そのまま下ろす。

	2	10
	5	4
-		9
=		7

①

	5	4
-		6
=		

②

	3	2
-		6
=		

③

	7	3
-		5
=		

④

	2	3
-		4
=		

⑤

	4	7
-		8
=		

⑥

	6	5
-		9
=		

⑦

	8	5
-		8
=		

⑧

	3	1
-		2
=		

⑨

	9	5
-		6
=		

3 繰り下がりのない3位数の計算

同じ位どうしをひこう。

774-231のひっ算のしかた

くり下がりのないひっ算

一の位からじゆんにけい算する。

百	十	一
7	7	4
-	-	-
2	3	1
()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()

① 一の位のけい算
 $() - () = ()$
 一の位は ()

② 十の位のけい算
 $() - () = ()$
 十の位は ()

③ 百の位のけい算
 $() - () = ()$
 百の位は ()

ひっ算でしましょう。

一の位からじゆんにけい算する。

③	②	①
5	7	5
-	-	-
3	2	4
2	5	1

①

8	2	7
-	-	-
3	1	6

②

3	9	6
-	-	-
1	2	3

③

4	8	5
-	-	-
1	2	4

④

7	6	4
-	-	-
4	1	2

⑤

5	5	9
-	-	-
2	3	2

⑥

6	7	8
-	-	-
4	2	4



4 繰り下がりのある3位数の計算

(1) 一の位へ繰り下げる計算

十の位から1繰り下げると、一の位は10になる。

552-137のひっ算のしかた

十の位からのくり下がりのあるけい算

一の位に1くり下げたので4 十の位からくり下げると12

百	十	一
5	5	2
-	-	-
1	3	7
()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()

① 一の位のけい算
 2から7は(ひけない)
 十の位からくり下げると
 $() - () = ()$
 一の位は ()

② 十の位のけい算
 一の位に1くり下げたので()
 $() - () = ()$
 十の位は ()

③ 百の位のけい算
 $() - () = ()$
 百の位は ()

ひっ算でしましょう。

1くり下げると 十の位からくり下げた10

5	5	2
-	-	-
1	3	7
4	3	5
3	3	8

①

3	7	2
-	-	-
1	2	8

②

2	8	4
-	-	-
1	3	7

③

5	3	1
-	-	-
2	1	6

④

8	5	3
-	-	-
3	2	9

⑤

4	6	5
-	-	-
2	3	7

⑥

9	7	6
-	-	-
4	2	9

(2) 十の位へ繰り下げる計算

百の位から1繰り下げると、十の位は10になる。

415-192のひっ算のしかた

百の位からのくり下がりのあるけい算

十の位に1くり下げたので3 百の位からくり下げると12

百	十	一
4	1	5
-	-	-
1	9	2
()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()

① 一の位のけい算
 $() - () = ()$
 一の位は ()

② 十の位のけい算
 1から9は()
 百の位からくり下げると
 $() - () = ()$
 十の位は ()

③ 百の位のけい算
 十の位に1くり下げたので()
 $() - () = ()$
 百の位は ()

ひっ算でしましょう。

1くり下げると 百の位からくり下げた10

5	1	5
-	-	-
1	9	2
4	3	4
3	5	3

①

5	7	8
-	-	-
1	9	2

②

4	6	5
-	-	-
2	8	4

③

7	5	9
-	-	-
4	7	1

④

5	2	7
-	-	-
1	5	4

⑤

3	1	6
-	-	-
1	8	2

⑥

8	3	4
-	-	-
2	6	2

(3) 一の位、十の位で連続で繰り下がりのある計算

百の位や十の位で繰り下げたときに、減った数を小さく書こう。

316-157のひっ算のしかた

十の位と百の位からのくり下がりがあふけい算

十の位に1くり下げたので2 一の位に1くり下げたので0 十の位からくり下げると16 百の位からくり下げると10

百	十	一	
3	1	6	
-	1	5	7
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

① 一の位のけい算
6から7は()
十の位からくり下げると()-()=()
一の位は()

② 十の位のけい算
一の位に1くり下げたので()
0から5は()
百の位からくり下げると()-()=()
十の位は()

③ 百の位のけい算
十の位に1くり下げたので()
()-()=()
百の位は()

ひっ算でしましょう。

百	十	一	
3	1	6	
-	1	5	7
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

①

3	6	5	
-	1	9	7
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

②

6	2	3	
-	2	4	8
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

③

8	3	8	
-	3	7	9
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

④

4	3	6	
-	1	6	8
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

⑤

5	4	4	
-	2	5	8
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

⑥

3	2	2	
-	1	2	9
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()



(4) 答えに空位がある計算

百の位の計算が0になるとき、答えに0は書かない。

367-315のひっ算のしかた

百の位のけい算が0になるときは、0は書かない。

百	十	一	
3	6	7	
-	3	1	5
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

① 一の位のけい算
()-()=()

② 十の位のけい算
()-()=()

③ 百の位のけい算
()-()=()
百の位は() 0は()

ひっ算でしましょう。

百	十	一	
3	6	7	
-	3	1	5
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

①

4	3	2	
-	4	1	7
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

②

5	7	3	
-	5	3	8
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

③

1	6	6	
-	1	4	9
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

④

7	9	4	
-	7	2	6
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

⑤

3	4	3	
-	3	2	7
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

⑥

3	8	5	
-	3	5	8
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

(5) 減数や答えに欠位がある計算

百の位に減数がないときは、被減数をそのまま下ろそう。

162-89のひっ算のしかた

十の位と百の位からのくり下がりがあふけい算

十の位に1くり下げたので1 一の位に1くり下げたので5 十の位からくり下げると12 百の位に1くり下げたので15

百	十	一	
1	6	2	
-	8	9	
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

① 一の位のけい算
2から9は()
十の位からくり下げると()-()=()
一の位は()

② 十の位のけい算
一の位に1くり下げたので()
5から8は()
百の位からくり下げると()-()=()
十の位は()

③ 百の位のけい算
十の位に1くり下げたので()
0は書かない。

ひっ算でしましょう。

百	十	一	
1	6	2	
-	8	9	
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

①

1	2	5	
-	4	8	
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

②

1	3	2	
-	7	5	
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

③

3	3	4	
-	5	7	
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

④

6	4	3	
-	6	6	
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

⑤

1	7	1	
-	9	3	
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

⑥

7	5	2	
-	8	4	
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

一の位に繰り下げられるため、十の位に数がないときは、百の位から繰り下げよう。百の位から1繰り下げるとき、一の位に小さく10、十の位に小さく9と書こう。



(6) 一の位の繰り下がりのため、十の位と百の位で波及的に繰り下がりがある計算

400-138のひっ算のしかた

百の位から一の位へ、くり下がりがあふけい算

百の位に 1 くり下げたので 3
 十の位に 1 くり下げると 10
 一の位に 1 くり下げたので 9

百	十	一
4	0	0
-	1	3
()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()

① 0からひけない。百の位からくり下げる。
 百の位から十の位に1くり下げると、
 百の位は() 十の位は()
 十の位から一の位に1くり下げると、
 十の位は() 一の位は()

② 一の位のけい算
 ()-()=()
 一の位は()

③ 十の位のけい算
 ()-()=()
 十の位は()

④ 百の位のけい算
 ()-()=()
 百の位は()

ひっ算でしましょう。

百の位からくり下げた10
 1 くり下げると

9	9	9
2	9	10
-	1	2
1	7	5

一の位へ、1くり下げると9
 十の位からくり下げた10

①

4	0	0
-	1	5

②

7	0	0
-	3	6

③

5	0	0
-	2	3

④

8	0	0
-	4	8

⑤

6	0	0
-	4	7

⑥

2	0	0
-	1	8

一の位に繰り下げられるため、百の位と十の位に数がないときは、千の位から繰り下げよう。千の位から1繰り下げるとき、一の位に小さく10、十の位と百の位に、小さく9と書こう。

(7) 一の位の繰り下がりのため、十の位と百の位と千の位で波及的に繰り下がりがある計算

1000-253のひっ算のしかた

千の位から一の位へ、くり下がりがあふけい算

百の位に 1 くり下げたので 9
 十の位に 1 くり下げると 10
 一の位に 1 くり下げたので 9

千	百	十	一
1	0	0	0
-	2	5	3
()	()	()	()
()-()=()	()-()=()	()-()=()	()-()=()

① 一の位も、十の位も、百の位も、ひけない。
 千の位からくり下げる。
 千の位から百の位に1くり下げると
 千の位は() 百の位は()
 百の位から十の位に1くり下げると、
 百の位は() 十の位は()
 十の位から一の位に1くり下げると、
 十の位は() 一の位は()

② 一の位のけい算
 ()-()=()
 一の位は()

③ 十の位のけい算
 ()-()=()
 十の位は()

④ 百の位のけい算
 ()-()=()
 百の位は()

ひっ算でしましょう。

はくり下げ

9	9	9
9	9	10
-	2	5
7	4	3

①

1	0	0	0
-	3	5	4

②

1	0	0	0
-	4	7	6

③

1	0	0	0
-	7	2	3

④

1	0	0	0
-	6	4	8

⑤

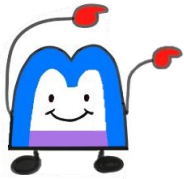
1	0	0	0
-	3	3	9

⑥

1	0	0	0
-	8	8	2

10 どんな計算になるかを理解するために

絵や言葉で事象を捉えて、加法・減法の関係、乗法・除法の関係を理解すること。



学習の内容

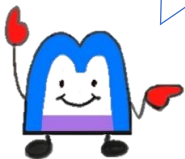
- たし算 ひき算
- かけ算 わり算

学習の流れ

- 1 絵で事象を理解することと数の変化を捉えて、たし算ひき算の問いを挿絵や文でつくり、式で表す。
- 2 1つ分、いくつ分、全部の数で問いを捉え、問いによってかけ算わり算の演算決定をする。

1 たし算とひき算

事象の数の増減、差、順番に着目して問題を考えよう。



数が増えるときはたし算、数が減るときや差を見つけるときはひき算になる。

えと ぶんを はって しきを かきましょう。
(1-15 ページの かあど)

ふうせんを 5こ もっています。		のこりは なんこですか。
しき	5	□ = 2

ふうせんを 5こ もっています。		ぜんぶで なんこになりましたか。
しき	5	□ = 8

カード

		3こ とんで きました。	3こ もらいました。
--	--	--------------	------------

えと ぶんを はって しきを かきましょう。
(1-16 ページの かあど)

こどもが 6にん います。		
しき	□	□ = □

こどもが 6にん います。		
しき	□	□ = □

		3にん がえりました。	なんにん のこって いますか。
		3にん あそびに きました。	ぜんぶで なんにんに なりましたか。

えと ぶんを はって しきを かきましょう。
(1-20 ページの かあど)

ばすに 6にん のって います。		
しき	□	□ = □

ばすに 6にん のって います。		
しき	□	□ = □

カード

		ばすで 3にん のって きました。	ばすのなかば なんにんに なりましたか。
		ばすで 3にん おりました。	なんにん のって いますか。

えと ぶんを はって しきを かきましょう。
(1-21 ページの かあど)

りんごが 5こ あります。	みかんが 2こ あります。	
しき	□	□ = □

りんごが 5こ あります。	みかんが 2こ あります。	
しき	□	□ = □

		あわせると なんこに なりますか。	りんごは なんこ おおいですか。
--	--	-------------------	------------------

えど ぶんを はって しきを かきましょう。(1-21 ページの かあど)

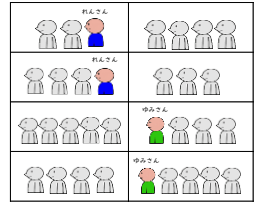
こどもは 6にん います。けえきを 1こずつたべます。	けえきは 2こ のこりしました。	けえきは はじめに なんこ ありましたか。
しき $\square \square = \square$		

こどもは 6にん います。けえきを 1こずつたべます。	けえきは 2こ たりません。	けえきは なんこ ありますか。
しき $\square \square = \square$		

れんさんの えを はって しきを かきましょう。(1-22 ページの かあど)

れんさんは まえから 3ばんめです。	れんさんの うしろに 4にん います。	みんなで なんにん いますか。
しき $\square \square = \square$		

ゆみさんは うしろから 4ばんめです。	ゆみさんの まえに 5にん います。	みんなで なんにん いますか。
しき $\square \square = \square$		



2 かけ算とわり算

1つ分、いくつ分、全部の数で 問いを捉えて、 式を考えよう。



えを はって しきを かきましょう。(2-9 ページの カード)

ぜんぶで なんこですか $\square \square = \square$

ぜんぶのかず $\square \square = \square$

1ぶくろぶん 3こ 7ぶくろぶん

ぜんぶで なんぼんですか $\square \square = \square$

ぜんぶのかず $\square \square = \square$

1はこぶん 2はん 8はこぶん

ぜんぶで なんこですか $\square \square = \square$

ぜんぶのかず $\square \square = \square$

1はこぶん 5こ 4はこぶん

えを はって しきを かきましょう。(2-9 ページの カード)

いくつぶん できますか $\square \square = \square$

ぜんぶのかず 12こ

1さらぶん 2こ いくつぶん

いくつぶん できますか $\square \square = \square$

ぜんぶのかず 16こ

1さらぶん 4こ いくつぶん

いくつぶん できますか $\square \square = \square$

ぜんぶのかず 21こ

1さらぶん 7こ いくつぶん



全部の数を見つ けるときはかけ 算、1つ分、い いくつ分の数を見 つけるときは、 わり算になる。

えを はって しきを かきましょう。(2-9 ページのカード)

1はこぶんのかずは なんこですか $\square \square = \square$

ぜんぶのかず 12こ

1はこぶんのかず 4はこぶん

1はこぶんのかずは なんこですか $\square \square = \square$

ぜんぶのかず 15こ

1はこぶんのかず 5はこぶん

1はこぶんのかずは なんこですか $\square \square = \square$

ぜんぶのかず 18こ

1はこぶんのかず 3はこぶん

